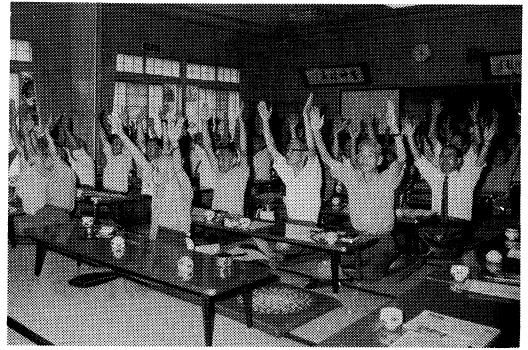


高齢者教育の現状と推移

白寿会連合会 単位老人会	高齢者教育 指導者研修会	高齢者教育 運営委員会	白坂	関辺	旗宿	小田川 高齢者講座	大沼 長寿教室	長寿 教室	白寿 教室	高齢者教育
"	"	全 市	白坂 "	関辺 "	旗宿 "	小田川 "	大沼 "	五箇地区	全 市	対 象
"	年一回	"	"	"	"	年二回	"	"	月一回	開 催
自 一部市助成主	"	"	"	"	"	市 費	自 主	"	国 補 助	財 源
千四百名	六十名	七十名	七十名	"	五十名	"	"	百名	七十名	人 数
市内各集会所	"	市老人センター	白坂 "	関辺 "	旗宿 "	小田川 "	大沼 "	五箇分館	市老人センター	開 催 場 所
二十 クラブ	/	/	/	/	/	/	/	〇	〇	昭 十九
二十三 クラブ	/	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	昭 五十
二十五 クラブ	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	昭 五十



学習の合間のレクリエーション

三、主なる活動状況

白寿教室は開設四年目をむかえ、各老人クラブのリーダーで構成しているため、意識も高く、学習活動、内容とも活発で、充実している。

長寿教室は開設三年目、毎年開催地区が変わり、学習内容は初級程度。地区高齢者の学習意欲の喚起と、学習をとおしてのグループづくりを主眼としている。

大沼長寿教室は、昨年国庫補助をうけ開設したが、教室生の学習意欲はおう盛。全員学習することに生きがいを感じ、家庭生活の中で心の安らぎを取りもどし、一年間で学習が終わるのは残念だ。なんとか今年も継続して学習

しようとして、自分たちの手で学習プログラムをつくり、費用を出し合い、市社教指導員の指導、助言で自主的に運営している。

残りの多くの高齢者を、どのような方法で学習の場に、グループ活動の場に導き出すか、生きがいと心の安らぎをどのように高めていくか、手法の開発ともども、更に多くを考えていかなければならない。

別表の教室、老人会活動に参加している高齢者は、環境や健康に恵まれているとはいえず、その目は青年のごとく明るく、老春をおう歌しつつ、折り目正しく学習に社会奉仕にと活動を展開している。しかし、これらの高齢者は全体の半数であり



老人センターの除草